

平成24年度研究科横断型教育プログラム(Aタイプ)授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科開講型)	研究科名	医学研究科 (人間健康科学系専攻)	横断区分	文理横断型	開講場所	病院地区 (人間健康科学系専攻) 171号室(予定)		
授業科目名	次世代医療を語る		講義担当者 所属・氏名	<ul style="list-style-type: none"> ・医学研究科人間健康科学系専攻: 高桑徹也、椎名 毅、杉本直三、細田公則 青山朋樹、酒井晃二、山田 実 ・医学部附属病院: 前川 平、門脇則光、森本尚樹、 藤林俊介、伊藤達也 ・iPS細胞研究所: 青井 貴之 ・細胞-物質統合拠点: 仙石 慎太郎 ・再生医科学研究所: 岩田博夫、山本雅哉 ・学際融合教育研究推進センター: 宮野公樹 					
配当学年	修士	単位数	2単位	開講期	後期	曜時限	水5限 (16:30-18:00)	授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕									
<p>医療は、さまざまな分野からのアプローチにより絶えず動的に変化し続けています。その動向を機敏にとらえて行くことは「よき医療人」を育成する本専攻の重大な使命です。このシリーズでは、理工学、細胞生物学、地域・社会学といった分野からの次世代の医療に対する取り組みを、その分野の専門家に紹介していただき、医療の動向を議論したいと思います。</p> <p>【研究科横断型教育の概要・目的】 次世代の医療は、医学研究科だけでなく、さまざまな分野の学生が担って行く可能性がある。今回は、その代表として理工学、細胞生物学、地域・社会学からのアプローチを取り上げる。本プログラムを聴講した様々な分野の学生が、次世代の医療に繋がるヒントを得て、思いもかけない連携が生まれるかもしれない。それは、この上なく喜ばしいことである。</p>									
〔授業計画と内容〕									
<p>理工学、細胞生物学、地域・社会学の3領域からの医療への取り組みを専門家に紹介していただき、討論をします。講義の順番は講師の都合によりこの通りではありません。後日、改めて連絡致します。</p> <p><次世代の生体情報取得機器開発></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 椎名 毅(京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻:教授) 次世代の検査機器開発;組織の性質を評価できるエコー(仮) 2. 杉本 直三(京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻:教授) 次世代の検査機器開発;動き、流れを評価できる画像解析法(仮) 3. 酒井 晃二(京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻:助教) 次世代の検査機器開発;コンピューターグラフィックと診断との融合(仮) <p><次世代の生体医療材料の開発とその臨床応用></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岩田 博夫(京都大学 再生医科学研究所:教授) 人工材料への細胞の接着(仮) 2. 山本 雅哉(京都大学 再生医科学研究所:准教授) 新しい Drug delivery system の開発(仮) 3. 藤林 俊介(京都大学 医学部附属病院整形外科:助教) ポーラスチタンを用いた椎体再建(仮) 4. 森本 尚樹(京都大学 医学部附属病院 形成外科:講師); 生物学的、工学的的手法を応用した皮膚潰瘍治療(仮) 									

<次世代の細胞生物学的アプローチ>

1. 前川 平(京都大学 医学部附属病院 輸血細胞治療部:教授)
京都大学における細胞治療・再生治療開発への挑戦(仮)
2. 門脇 則光(京都大学 医学部附属病院 血液・腫瘍内科:准教授)
癌免疫療法としての細胞療法(仮)
3. 青井 貴之(京都大学 iPS 細胞研究所:教授)
細胞治療に向けた iPS 細胞の現状と課題(仮)
4. 細田 公則(京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻:教授)
糖尿病、肥満症、メタボリックシンドロームの次世代医療

<医療の新しい社会還元の模索>

1. 山田 実(京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻:助教)
転倒予防を通じた新たな地域との関わり(仮)
2. 伊藤 達也(京都大学 医学部附属病院 探索医療センター:助教)
治験、臨床試験を実施する際の行政との関わり(仮)
3. 仙石 慎太郎(京都大学 細胞-物質統合拠点:准教授)
幹細胞の品質評価・安定培養技術とイノベーション(仮)
4. 宮野 公樹(京都大学 学際融合教育研究推進センター:准教授)
新しい医療を目指した学際的アプローチ(仮)

[履修要件]

特に定めない

[成績評価の方法・基準]

出席 50%, レポート 50%

[教科書]

特に定めない

[参考書等]

特に定めない

[その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)]

問い合わせ先; 高桑徹也; tez@hs.med.kyoto-u.ac.jp